

人権教育だより『ひだまり』

第4号

島根県立江津高校 人権教育担当

島根県立江津工業高校 人権教育担当

令和4年12月22日(木)発行

様々な行事のあった2学期が終わります。行事の中でたくさんの考え方に触れ、おもいやる「大切さ」やおもいやる「難しさ」を実感した人も多いのではないのでしょうか。その感覚を大切にしていよいよ人間関係を築いてほしいと思います。



江津高校では11月15日に

ロードレース大会を実施しました。

自分を変えるチャンス！

さて、長い2学期で「失敗したなあ〜」や「もっと努力すれば良かった……」など、反省や後悔の思いがあったのではないのでしょうか。また、みなさんの中には理想の自分があり、その自分との差にがっかりした人もいたかもしれません。よく「明日から頑張る！」という言葉が聞きますが、なかなか難しいのが現状です。

実はこの冬休みはよりよい自分になる大きなチャンスなのです！

当たり前の事ですが冬休み中に年を越します。2022年が終わり2023年になるのです。私たちも世の中も年を越すことで一区切りし、「新しく」なる気がします。この特別な期間は心機一転(あることをきっかけに、すっかり気持ちや心を良い方に入れ替えること。)のチャンスです。お互いによりよく変わって(決意して)3学期に会えると良いですね。

成績を見て

自分の成績を見てどうだったでしょうか。嬉しかったでしょうか。悲しかったでしょうか。それぞれの思いがあると思います。

では、その通知表は何のためにあるのでしょうか。みなさんを喜ばせるため？みなさんを懲らしめるため？みなさんの価値を決めるため？全く違います。

通知表は「みなさんを成長させるため」にあるのです。

各教科の数字だけを見ている人も多いたかもしれません。その数字の裏側にはみなさんの得意や苦手が隠れています。(1年生は観点別評価を見ると分かりやすいかもしれません。ABCで評価されています。)この評価を元に自分は何ができて何ができていないのかを知るわけです。もし詳しく知りたいときには、教科担任の先生に聞きに行くのもよいかもしれません。何かよいアドバイスをもらえることもあるでしょう。通知表を見て一喜一憂するのではなく自分の成長のために使えと良いですね。

・予定していた内容を変更しました。次号で江津工業高校の行事の内容を予定しています。

タンポポ

坂村真民

わたしはタンポポの根のように
強くなりたいと思いました
タンポポは

踏みじられても
食いちぎられても

泣きごとや弱音や
ぐちはいいません

却ってぐんぐん根を
大地におろしてゆくのです

わたしはタンポポのように
明るく生きたいと思いました

太陽の光をいっぱい吸いとって
道のべに咲いている

この野草の花をじっとみてると
どんなに苦しいことがあっても

リンリンとした勇気が
体のなかに満ち溢れてくるのです



わたしはタンポポの種のように
どんな遠い処へも飛んでいって
その花ことばのように

幸せをまき散らしたいのです
この花の心をわたしの願いとして
一筋に生きてゆきたいのです

《江工生向け》

人権に関するホームルーム

12月上旬に、学年ごとのテーマで行いました。

1年生「私の五面鏡」

自分の長所・短所をみつめるとともに、友人の長所を伝えたりしながら、互いを尊重して生活することについて考えました。グループワークで互いの長所を伝えあっている様子は、照れくさそうにしながらもとてもほっこりした雰囲気でした。

～感想～

- ・自分から見る自分と相手から見る自分では違うところもあれば同じところもあり自分にとっては新しい気づきだった。
- ・前までは、自分の長所や短所をあまり分析する機会がなく、自分はどういう人間なのかも曖昧でした。ですが今回のHRで分析できたおかげで、改めて自分のことがしれたと思います。周りから見た私と自分から見た私は違うけれど、どんな印象であってもそれも自分なんだなと感じさせられました。

2年生「差別の歴史から学ぶⅡ」

手紙文「タヤけがうつくしい」を通じて、識字学級や学校に行けなかった背景について知るとともに、字を学ぶことで生きる喜びにつながるということについて考えました。

～感想～

- ・普段自分たちが当たり前と感じていることもあるけれど、それが当たり前ではないことをよく感じることができました。
- ・文字が読めないということがどれほど大変なのかとてもよく理解できました。

3年生「結婚差別の問題を考えることにより人権感覚を磨く」

結婚差別が今もなお続いているという人権問題についての調査結果やDVD『部落の心を伝えたい』をみて、人権について考えました。

～感想～

- ・部落差別が遠い昔のものだと思っていたのですが、とても身近にあることでびっくりでした。
- ・もしまわりの人が差別を受けていたら、その人を守るような行動をとりたい。
- ・こんな差別がなくなったらもっと日本は明るい国になると思います。
- ・少しでも差別をなくすために、自分ができることを探そうと思いました。